

区分	職場環境要件項目	当法人としての取組
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針・その実現のための施策・仕組みなどの明確化	共同出資、共同経営の理念のもと、メンバー全員に運営への発言権があり、理事を交代しながら運営しています。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	福祉有償運送を除き、定年制を設けず、無資格でも加入できる仕組みにしています。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	近隣の地域包括支援センターと連携してイベントでの職業紹介を行っています。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対する芽根地面と研修の受講支援等	資格取得の補助については事前に相談が必要ですが、サービス提供責任者の初任者・現任研修などの受講支援も行っていきます。
	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	相談担当理事を決め、常時相談を受け付けています。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	人事担当（理事長・副理事長）が常時相談を受け付けています。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度等の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	常勤についてはフレックスタイム制度を導入し、働く人の状況に応じて非常勤と常勤勤務の切り替えを行っています。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	労働基準法に準じて有給日数を算定し、取得をしてもらっています。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	相談担当理事を決め、常時相談を受け付けています。

腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛 対策の実施	外部講師を招いてベッドから車いすへの移乗介助など、負担軽減のための身体介護技術の研修を行っています。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	マニュアルを作成し、メンバー・各利用者様宅にも配布しています。また、事故・ヒヤリハット報告をメンバー間で情報共有するなど活用しています。
生産性向上のための業務改善の取組	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備	事務内の環境整備（掃除や資料整理）をパソコン内のデータも含め、日常的に行っています。また、2023年度は害獣駆除業者に依頼して事務所のメンテナンスも行いました。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	各事務作業のマニュアルを作成し、情報共有に努めています。また、記録書の改善など定期的に行っています。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	月に1度の定例会、理事会、サ責会議を通して様々な立場から意見を募り、ケアや運営の改善を行っています。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域包括支援センターと連携して健康体操や地域イベントに参加して交流を図っています。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	毎月の定例会や内部研修時に好ましいケアの報告や共有など行っています。